

わくわくアクアミュージアム

12月に株式会社アクア総合企画 MUKASA 様にご協力いただき「水槽展示によるアクアミュージアム」を開催しました。利用者の皆さんには椅子に座ってゆっくり鑑賞していただき、普段は味わえない幻想的な空間を楽しんでいただきました。また、水槽内にクリスマスを彩った置き物や亀が一匹混ざって入っていたこともあり、水槽の中に何がいるのかまじまじと観察し、指をさして楽しんでいる方もいらっしゃいました。（記：水谷）



わくわく移動水族館

2月8日（水）、神明障がい福祉施設に葛西臨海水族園の移動水族館がやってきました。コロナ渦において外出の機会が少なくなってきた為、利用者の皆さんに水族館の雰囲気を楽しんでいただければと思い、今回のイベントを企画しました。

水槽コーナーでは、カクレマノミやナンヨウハギ、ハリセンボンやオジサン、キイロハギやホンソメワケベラのお魚を観賞し、利用者の方からは「ニモだ!」「ドリーだ!」「フグがかわいい!」と目を輝かせながら感想が上がっていました。また、利用者の方や支援員からの様々な疑問や質問に対して水族館スタッフの方から特徴の説明など丁寧な回答があり、海の生き物を学ぶ機会にもなりました。

お魚以外にはイトマキヒトデやムラサキウニ、タカノケフサイソガニやマナマコ、ホンヤドカリ等の生き物を間近で観察させていただいたり、サメの歯や肌に触れたり普段は出来ないような体験をさせていただき、皆さんとても楽しまれたイベントになりました。（記：佐々木）



お知らせ ~information~

- ★春季休園日 ・3月31日（金）～4月3日（月）（4月4日から通所開始）
- ★入所式 ・4月10日（月）

※広報誌における写真や記事は、個人情報保護法に基づき、ご本人、およびご家族の同意の上で掲載しています。（広報担当：神野・熊田・迫・荻島・小林・水谷）

統括主任から

日ごろより神明福祉園の運営にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。「なんだかんだ」が皆さまのお手元に届く頃には、皆さまのお住まいのお近くでも桜があたりを彩っている頃でしょうか。

さて、本号記事「二十歳を祝う会」にちなんで、今回は大変恐縮ながら私自身の二十歳の頃のことから“接遇”に関する話を少し書きたいと思います。当時は某焼肉店でアルバイトをしていました。お客さまからのご注文をお受けしたり、お肉や料理を運ぶ業務が基本ですが、お飲み物が少なくなったり七輪の炭が弱くなった頃、或いは網が汚れてきた時などにお声掛けしたり、ちょっとした会話から食べ物やお酒など好みを知ってお勧めするなど、来ていただいたお客様に、いかに愉しく心地よい時間を過ごしていただくか、ありとあらゆる場面で考えていました。今の私の仕事への向き合い方、人との接し方にも根付いている経験でもあり、人と接する仕事に共通して大切な接遇の概念が多く含まれていたとも感じています。

現在は利用者の皆さまがお客さまにあたります。支援を行う上で重要な『尊厳』『人権』『権利擁護』や法人・施設理念の実現には“接遇”の概念に基づいた支援が重要であることを、年月が経つごとに強く感じるようになりました。新年度を迎えても、引き続きすべての職員が接遇の考え方をもとにサービスを提供させていただけるよう、実践できている点は強化し、改めるべき点は組織全体でお互い気づき、あるべき形に改めていけるよう取り組んでまいります。（記：阿部）

二十歳を祝う会



新年が明け、1月13日（金）に二十歳になられた利用者の方を祝う会を神明福祉園全体で迎えました。本年度は1名の利用者の方が二十歳になられ、祝福しました。

新型コロナウイルス感染症の予防対策として、所属グループの利用者の方や職員以外は各所からオンラインで式の様子を中継して見守りいただきました。出身学校の先生方々からお祝いのご祝辞を賜り、福祉園からも多くの利用者の方々からオンラインでお祝いの言葉を頂き、式は終始和やかな雰囲気で行われました。式の中盤では、ご本人が入所されてからの施設内での様々な場面の様子をまとめたスライドショーを上映し、ご家族からはご本人の現在の成長に至るまでのエピソードをお話しいただくと、始めは緊張されていた様子のご本人でしたが次第に笑顔が見られました。スライドショーのDVDは記念品として花束と一緒に贈呈されました。

今後、20代という新たなライフステージを歩んで行かれる中で、日々の新しい発見とご成長がありますことを心よりお祈り致します。改めて、おめでとうございます。（記：齋藤）



福祉園の冬



1グループ



1グループでは、今年も年始めに「初詣体験」を行いました！今回は昨年度よりもバージョンアップして、活動室入口に大鳥居、活動室内にミニ鳥居や本坪鈴を設置してお詣りしていただきました。また、水に浮かべると文字が浮かび上がる「水みくじ」を引いて今年の運勢を占ったり、破魔矢を受け取ると皆さん楽しそうな様子が見られました✧

2月にはバレンタインをテーマに調理活動と音楽活動を行っています。調理活動ではココアパンケーキを焼き、自由にトッピングをしていただいています。それぞれ個性の光るトッピングで、美味しそうに召し上がっていました。また、音楽活動では支援員の楽器演奏に合わせて合奏を行いました。特別ゲストをお迎えし、様々な楽器を使った合奏に皆さん満面の笑顔が見られました😊 (記：神野)



2グループ



2グループでは、12月に調理活動でクリスマスケーキを作りました。利用者の皆さんにとってもクリスマスシーズンは気持ちが華やぎ、特別な日のようでした。

スポンジケーキに生クリームを塗り、いちごやバナナ、ミックスフルーツを挟んで生クリームでデコレーションして、最後に各々の好きな物(いちごやお菓子など)をトッピングし、作る工程も皆さんで楽しみました。

試食では、皆さんとても良い表情をされていて、あまりの美味しさに思わず笑みがこぼれる方もいらっしゃり、クリスマスを満喫した1日となりました。(記：佐々木)



3グループ



3グループでは毎日ウォーキングを頑張っていますが、今年の冬は「10年に一度の寒波」等、寒さが厳しい日もありました。普段通っている遊歩道の川が凍っている日もあり、季節を感じながらのウォーキングでした。また、普段は葉っぱで遊びながら歩いている方にとっては、葉っぱも落ち葉も少ない時期は少し物悲しい風景だったかもしれませんが、天気の良い日は心地の良い時間となっています。天候などによってウォーキングに行かない日には、室内でカラオケや調理活動を楽しみました。(記：神田)



4グループ



4グループでは、冬の厳しい寒さに負ける事無くウォーキングを行っていますが、氷点下に近い気温になった時だけは室内の活動に切り替えています。室内の活動はトライ活動を中心に行っていますが、秋にはとても大きなサツマイモが収穫出来た為、調理活動で『芋餅』を焼きました。大きく育てたので味はどうかと心配される声もありましたが、そこは丹精込めて育てた甲斐もあり、美味しくいただく事が出来ました。農園の活動は現在中止していますが、もう少し暖かくなってくるとつくしが芽を出し始めます。来年も美味しい物が収穫出来る様に準備を進めていきたいと思えます。(記：木村)

